

担い手経営発展支援金融対策事業

令和7年度補正予算額 8,313百万円

<対策のポイント>

規模拡大、農産物輸出等の攻めの経営展開に意欲的に取り組む農業者を金融面から強力に支援するため、スーパーL資金・農業近代化資金について、**貸付当初5年間の金利負担を軽減します。**

<事業目標>

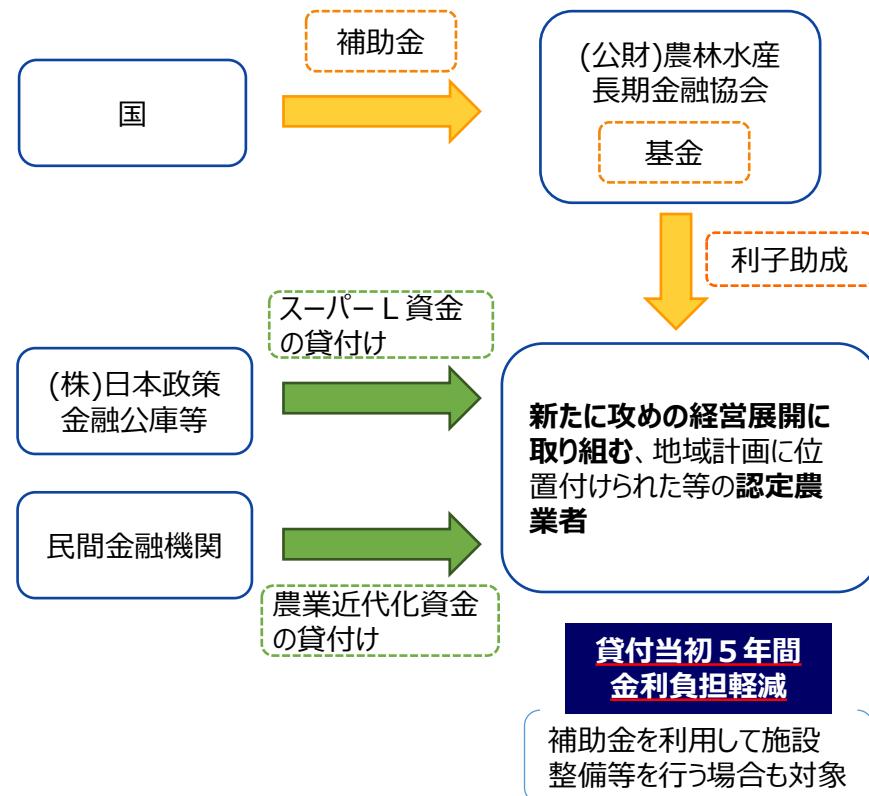
本事業に係る融資先の5年後の売上金額を融資実施前より15%以上増加

<事業の内容>

1. 対策の内容

規模拡大、農産物輸出等の攻めの経営展開に意欲的に取り組む農業者を強力に支援するため、スーパーL資金及び農業近代化資金について、**貸付当初5年間の金利負担を軽減します。**また、農業近代化資金については、貸付当初5年間の金利負担軽減措置の終了後もスーパーL資金の金利水準と同等となるよう**金利負担を軽減します。**

<事業イメージ>



2. 対象者

以下のいずれかの要件等を満たす認定農業者であって、新たに攻めの経営展開（農産物輸出等の前向きな取組に向けた、規模拡大や経営多角化等の体質強化）に積極的に取り組む者

- ① 地域計画に位置付けられた者等
- ② 農地中間管理機構から農用地等を借り受けた者

<取扱融資機関> 株式会社日本政策金融公庫（※）、民間金融機関
(※ 沖縄県にあっては沖縄振興開発金融公庫)

<事業の流れ>

